

平成29年度

相模原市立博物館 年報



目 次

相模原市立博物館概要	2
1 設立の経緯	
2 設置目的	
3 博物館略年表	
4 平成 29 年度生涯学習部組織目標	
5 博物館ネットワークの推進	
6 相模原市立博物館活動評価書	
管理運営	9
1 組織及び職員 (1) 組織と事務分掌 (2) 職員	
2 博物館協議会 (1) 趣旨 (2) 委員構成 (3) 活動状況	
3 施設 (1) 施設概要 (2) 施設管理業務委託 (3) 消防訓練	
4 予算	
教育普及	14
1 入館者数 (1) 29 年度計 (2) 総計 (3) 詳細	
2 企画展等	
3 講座・講演会・教室・観望会等の事業	
4 プラネタリウム・全天周映画	
5 情報サービスコーナー	
6 学校と博物館の連携を進める研究会	
7 広報・出版等	
8 博物館学芸員実習	
9 学習利用	
10 インターンシップ	
11 博物館職員の講師依頼等	
12 JAXA との協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
13 市民との協働	
資料管理	38
1 博物館収蔵資料点数	
2 収集・整理	
3 購入資料	
4 有害生物管理の実施 (1) 受入れ資料のくん蒸 (2) 有害生物調査	
5 資料の特別利用	
6 JAXA 宇宙科学研究所からの借用物	
7 全国科学館連携協議会からの借用物	
調査研究	47
市史・町史編さん	48
1 相模原市史	
2 津久井町史	
博物館関連施設	51
1 尾崎号堂記念館	
2 吉野宿ふじや	
3 入館者数一覧	

付録

- 相模原市立博物館条例
- 相模原市立博物館条例施行規則
- 相模原市立尾崎号堂記念館条例
- 相模原市立尾崎号堂記念館条例施行規則
- 相模原市吉野宿ふじや管理規程

相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために = 地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係を設置し、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があり、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。また、相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成 5 年に着工した。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成 16 年 1 月に 100 万人を超え、平成 23 年 8 月に 200 万人、開館 20 年目を迎えた平成 27 年 6 月には 250 万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校へ出張授業、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内のすべての小学校が年に一回は来館するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴...自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7.11.20 神奈川第 32 号）

3 博物館略年表

年	月	事	項
昭和 5 5 年	4 月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる	
昭和 5 6 年	4 月	社会教育課に博物館準備係設置	
昭和 5 6 年	6 月	博物館をつくる懇談会設置	
昭和 5 6 年	1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定を提言	
昭和 5 8 年	2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定	
昭和 5 8 年	6 月	展示専門委員会設置	
昭和 5 9 年	3 月	博物館展示基本計画策定	
平成	2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定	
平成	3 年 4 月	博物館建設事務所設置	
平成	3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会設置	
平成	3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出	
平成	3 年 8 月	建築設計者決定	
		博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散	
平成	3 年 9 月	建築基本設計着手	
平成	4 年 1 月	建設用地取得	
		展示プロポーザル提案図書提出	
平成	4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置	
		展示設計・施工者決定	
平成	4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手	
		プラネタリウム等候補機種選考委員会設置	
平成	5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約	
平成	6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約	
平成	7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定	
		登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)	
平成	7 年 7 月	博物館建設工事竣工	
平成	7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工	
平成 7 年 11 月 20 日 開館			
平成	8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)	
平成	8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞	
平成	9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始	

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	11/21 入館者数 50 万人を超える
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	1/18 入館者数 100 万人を超える 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマーク制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 10/22 入館者数 120 万人を超える
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（補助執行）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	8/28 入館者数 200 万人を超える 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン
平成 25 年 8 月	小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 26 年 12 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」打上げパブリックビューイング開催
平成 27 年 3 月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル
平成 27 年 6 月	6/20 入館者数 250 万人を超える
平成 27 年 11 月	相模原市立博物館開館 20 周年
平成 28 年 2 月	尾崎罌堂記念館常設展示リニューアル
平成 28 年 4 月	プラネタリウムの操作等業務を PPP で選考した業者と契約
平成 29 年 4 月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約

4 平成 29 年度 生涯学習部組織目標

人が財産（たから）の基本理念に基づき、全ての市民や子どもたちにとって、より良い学びの環境づくりを進めることを目指します。

そのため、「新・相模原市総合計画」をはじめ、「相模原市教育振興計画」、「相模原市スポーツ振興計画」、「相模原市図書館基本計画」等に基づき、生涯学習分野においては、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向け、平成 29 年度の「生涯学習部」の組織目標を次のとおり定めます。

< 重点目標 >

- 『誰もが生涯にわたり学び続けられるような環境の充実』
- 『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成への寄与』

< 重点項目 >

- 1 地域の活動拠点として円滑で持続可能な公民館運営を推進するためにハード・ソフトの両面から積極的に支援する。
 - ・ 公民館の使用料導入に向けた取組
 - ・ 公民館の大規模改修事業等における施設の着実な整備
 - ・ 学習活動を通じた地域を担う人材の育成と仕組みづくりの促進
- 2 文化財の保存及び活用を計画的に進める。
 - ・ 産業経済活動と調和した埋蔵文化財の適切な調査、保存
 - ・ 郷土意識の更なる醸成に向けた文化財の普及、シティセールスへの活用
- 3 「する」「観る」「支える」スポーツ環境の充実に取り組む。
 - ・ 利用者ニーズを踏まえたスポーツ施設の充実
 - ・ ホームタウンチームやトップアスリートの支援と、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたスポーツの振興
- 4 図書資料等の提供を中心とした市民の知的活動の支援に一層取り組む。
 - ・ 自主的な学習を支えるための資料の充実と積極的な情報発信
 - ・ 地域関係機関との連携による図書館の利用促進
 - ・ 図書館（鹿沼台）の中央図書館としての再整備の推進
- 5 博物館は地域の歴史や文化、自然に関する資料の収集、保管、展示等を推進するとともに、資料の活用を通し地域文化の継承・発信の拠点として事業を実施する。
 - ・ 市域全域の理解を深めるための、収蔵資料の更なる活用を通した魅力ある展示
 - ・ 関係機関や団体、学校等と連携した事業による、来館者の増加と学びの場の提供
 - ・ J A X A 宇宙科学研究所等との連携による宇宙教育普及事業の充実

平成 29 年度 博物館 重点目標

博物館は、生涯学習部の重点目標である『誰もが生涯にわたり学び続けられるような環境の充実』、『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成への寄与』を実現する柱のひとつとなっています。

このため、地域の歴史や文化・自然に関する資料の収集、保管、展示等を推進するとともに、資料の活用を通し地域文化の継承・発信の拠点として事業を実施します。

事業の実施にあたっては、市民や近隣施設をはじめとした関係団体等との連携の強化を図り、ともに高めあい、さらなる相模原の魅力づくりに取り組みます。

- ・ 市域全域の理解を深めるため、収蔵資料のさらなる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・ 関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・ J A X A 宇宙科学研究所等との連携による宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・ 市民ボランティア等の養成に取り組むとともに、協働による博物館活動の充実に努めます。
- ・ 博物館を広く周知するため、様々なメディアを積極的に活用した情報発信に努めます。

重点施策（取り組むべき事業）

1 展示・教育普及事業の推進

- (1) 考古・歴史・民俗・生物・地質・天文等に関する企画展示、講演会等の実施
- (2) 市民ボランティアとの協働による展示内容の検討及び展示替えの実施
- (3) J A X A 宇宙科学研究所との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- (4) 天文分野に関するソフト事業の実施と継続的な施設改修の検討
- (5) 尾崎号堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- (6) 市民ボランティアの養成と自主活動の促進

2 積極的な情報発信事業の推進

- (1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター等 SNS を活用した情報発信の実施
- (2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- (1) 計画的な施設維持管理の実施
- (2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史・町史編さん事業の推進

- (1) 相模原市史「別編」の刊行
- (2) 津久井町史「文化遺産編」の刊行
- (3) 市史に関係する講演会の開催

5 博物館評価の実施

- (1) より親しまれる博物館の実現を目指した博物館評価の実施

5 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎号堂記念館、吉野宿ふじやでの地元団体への下記の委託事業のほか、社会教育施設等における普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎号堂記念館展示・普及事業・・・開館 60 周年企画展、近現代史講演会など
4 事業、延べ 354 人

イ 吉野宿ふじや活性化事業・・・藤野の養蚕展、藤野の石造物展、藤野のおひな様展
3 事業 延べ 1,716 人

6 相模原市立博物館活動評価書(抜粋)

相模原市立博物館活動評価の総括
(評価期間：平成 26 年度～平成 28 年度)

平成 20 年 6 月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会委員による有識者評価を経て、平成 23 年度～25 年度評価に引き続き、第 2 回目となる平成 26 年度から平成 28 年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【重点目標・評価項目】

- 1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動

平成 26 年度～平成 28 年度における活動評価全体総括

市民とともに歩む博物館として、引き続き、地域に根差した活動を活発に行っている点が有識者会議において評価された。

具体的には、JAXA と連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施をはじめ、常設展示のリニューアルとして市民目線による展示の検討を継続的に行っている点、小学校をはじめとする学校への学習支援や、公民館等の事業の実施に対しての連携、博物館を舞台とする各分野でのボランティアとの協働による活動の充実などである。

一方、博物館でのイベント等は積極的に行っているが、入館者数は頭打ちの傾向が見られ、また、利用する年代層にやや偏りが見られるなど、市民にとって一層の魅力ある活動の展開や、事業の広範な周知方法についての指摘がなされた。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、さらに地域文化を継承・発信する拠点としての博物館を目指して活動していく。

【定量評価】

定量評価は、事業評価シート(定量評価)のとおり、目標を上回る、あるいはそれに近い数値を達成している項目が多く、この点は評価されるが 28 年度には入館者が 5% 減少となるなど、より魅力ある事業の展開や積極的な周知など、今後のさらなる充実が必要である。

課題として、上記の点に加え、定量的評価の数値の推移を館全体の活動内容に位置付けて分析することや、学芸員が館外で行った事業の参加数を加えるなど、多面的な方向からさらに定量評価を検討する必要がある。

【定性評価】

定性評価は、今回の評価書作成にあたり、直近の平成 28 年度の活動状況に対する評価を中心に記載しており、各項目については、以下のとおり総括した。

- 1 常設展示のリニューアルと宇宙教育普及事業では、「市民による常設展示の検討」「各種宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、市民による常設展示の展示替えを目的とした検討会が結成され、市民目線による展示の検討が引き続き行われている点や、国際的にも知名度の高い機関である J A X A と連携した多彩な活動が、積極的に行われている点が評価された。

課題として、市民から提出されるさまざまな意見を適切に反映させ、さらに博物館への期待度を上げることや、宇宙教育普及事業に参加した市民の評価を元に、をさらに J A X A との連携を発展させることが挙げられる。

- 2 関連施設・機関との連携では、「博物館ネットワーク計画の推進」「学校への学習支援」「公民館等との連携」について評価を行った。

有識者意見からは、津久井地域にある施設の利用者が市民協働による事業によって増加した点や、全体として小学校を中心とした授業等への支援が積極的に行われ、そのほかにも、公民館等の事業実施に対しての協働が積極的になされている点が高く評価された。

課題として、津久井地域の施設の周知が未だ不十分であることや、今後ともさまざまな取り組みによる学習支援の展開、博物館職員以外の外部の研究者やボランティアとの連携による活動の展開について検討していく必要がある。

- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、引き続き博物館に拠点を置く市民の会による活動が実施され、運営の軸の一つとなっている点や、特に市民学芸員による主体性を重視した活動のあり方が高く評価された。

課題として、会に参加する者が高齢化・固定化して人材の確保が難しくなっている点や、そうした博物館で活動する多くのボランティアの存在や活動を周知することがあり、さらに、さまざまな市民による活動内容の役割をこの機会に博物館側として整理することが必要である。

- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動では、「市民とともに実施する資料整理及び展示、調査成果の公表」について評価を行った。

有識者意見からは、市民の会を中心に数多くの資料採集や整理が市民協働によって行われ、また、市民による調査研究の成果が『研究報告』に掲載されていることが評価された。

課題として、こうした市民による資料整理の成果を蓄積して周知していくことや、さらに多くの市民が参加できるような調査を企画・実施していくことが挙げられる。

最後に、今回は今後の評価の手法や評価シート全般に係わる有識者評価も実施した。

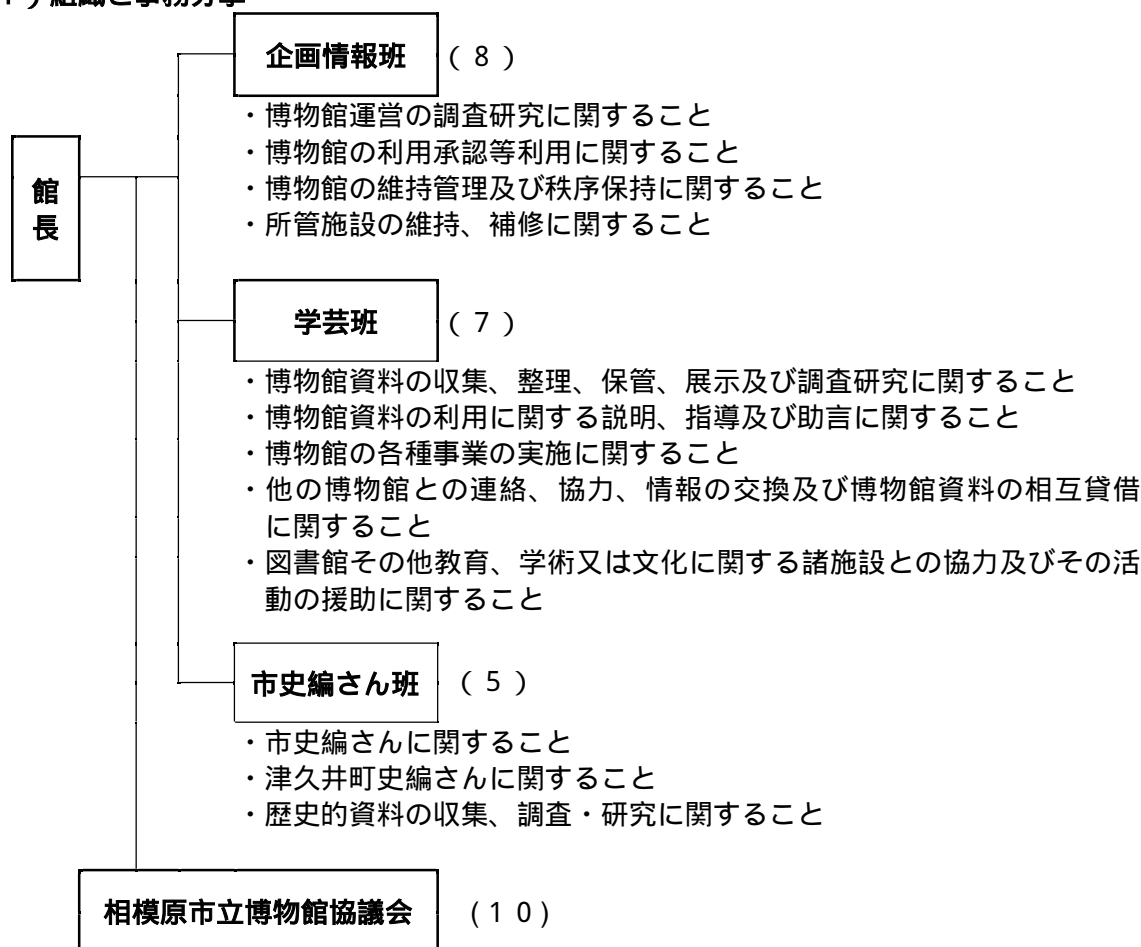
この点に関しては、博物館として達成できなかった内容の記載や、定量評価に際して妥当な目標値の設定と目標を達成する手法の検討・評価、社会の I T 化への多様な面からの対処、館の特徴の改めでの明示化など、多様な方面からの評価がなされた。

管理運営

1 組織及び職員

平成 30 年 3 月 31 日現在

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員

	(平成30年3月31日現在)		(平成30年4月1日現在)	
	参事兼館長	武田 伸彦	参事兼館長	武田 伸彦
企画情報班	担当課長	佐々木 春美	担当課長	佐々木 春美
	主査	松木 悟	主査	松木 悟
	主査	江成 正美	主査	江成 正美
	主任	有田 和人	主事	笠原 彩加
	主任(再任用)	井上 明	主任(再任用)	古瀬村 智充
	主任(再任用)	古瀬村 智充	主任(再任用)	尾崎 當
	主任(再任用)	尾崎 當		
	主任(再任用)	山下 秀範		
学芸班	総括副主幹(学芸員)	加藤 隆志(民俗)	総括副主幹(学芸員)	加藤 隆志(民俗)
	副主幹(学芸員)	木村 知之(生物)	副主幹(学芸員)	木村 知之(生物)
	副主幹(学芸員)	木村 弘樹(歴史)	副主幹(学芸員)	木村 弘樹(歴史)
	主査(学芸員)	中川 真人(考古)	主査(学芸員)	中川 真人(考古)
	主査(学芸員)	秋山 幸也(生物)	主査(学芸員)	秋山 幸也(生物)
	主査(学芸員)	河尻 清和(地質)	主査(学芸員)	河尻 清和(地質)

	主事	田子 智大(天文)	主任(学芸員) 主事(学芸員)	里見 聡一(天文) 田子 智大(天文)
市史編さん班	担当課長 副主幹 主査 主査(町史担当) 主査(町史担当)	菊地原 貴史 三沢 長次 井上 泰 方波見 淳 荒井 望	担当課長 副主幹 主査	菊地原 貴史 三沢 長次 井上 泰
非常勤特別職	学習指導員 市史編さん調査員 町史専門調査員	1名 1名 1名	学習指導員 市史編さん調査員 町史専門調査員	1名 1名 1名

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

平成27年11月20日～平成29年11月19日 会長 副会長

氏 名	備 考	選出区分
近森 謙介	小学校教諭(平成28年5月2日から)	学校教育
坂本 万里	高等学校校長	
戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森山 小百合	市立小中学校PTA連絡協議会	
井上 博美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小瀬 康行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青木 雄司	神奈川県公園協会職員	
生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
勝田 一郎	市の住民	市民公募
豊田 里美		

平成29年11月20日～平成31年11月19日 会長 副会長

氏 名	備 考	選出区分
水戸 一平	小学校教諭	学校教育
千葉 美希子	高等学校副校長	
戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
若林 由美	市立小中学校PTA連絡協議会	
井上 博美	市女性学習グループ連絡協議会	家庭教育
小瀬 康行	東京家政学院大学教授	学識経験者
青木 雄司	神奈川県公園協会職員	
生田 ちさと	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
三宅 潔	市の住民	市民公募
成田 治子		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	7月6日(木)	・平成29年度の博物館事業計画について ・平成28年度の博物館活動の評価について
2	11月9日(木)	・博物館活動評価書について
3	平成30年 3月8日(木)	・博物館協議会の概要、活動内容について ・博物館の概要について ・今後の予定について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡

	用途・面積	主な室	内容
展示・教育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サビコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
	整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。	
収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。	
管理・共用	管理・共用スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

カ W i F i 平成26年度から市民協働事業の試みとして博物館と尾崎弔堂記念館に W i F i 環境を整えた。

(2) 施設管理業務委託 (委託料年間 1 , 0 0 0 万円以上)

- ・ 総合管理業務委託 株式会社オーチャー 相模原支店
委託期間 平成 2 7 年 6 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 5 月 3 1 日
- ・ 受付業務委託 株式会社ハリマビステム 相模原営業所
委託期間 平成 2 8 年 6 月 1 日 ~ 平成 3 1 年 5 月 3 1 日
- ・ プラネタリウム運営業務委託 株式会社東急コミュニティー
委託期間 平成 2 9 年 4 月 1 日 ~ 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

(3) 消防訓練 平成 2 9 年 1 1 月 3 0 日 (木) [県博協防災訓練]
平成 3 0 年 3 月 3 0 日 (金)

4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	29年度予算額	30年度予算額	財源内訳	29年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	32	30	一般財源	30
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	278,628	269,022	一般財源	258,479
						特定財源	20,149
計				278,660	269,052		278,658

生涯学習施設維持補修費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	32	経費内訳	29年度	30年度
		1 施設修繕料	32	30
計	32	計	32	30

博物館費

節		説明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,575	経費内訳	29年度	30年度
0 4 共済費	389	1 博物館協議会経費	293	273
0 7 賃金	5,143	2 施設運営費	48,492	53,793
0 8 報償費	13,062	(1) 資料収集保存経費	4,840	9,423
0 9 旅費	761	(2) 資料調査研究経費	1,845	2,685
1 1 需用費	76,035	(3) 展示・教育普及事業経費	7,289	7,247
1 2 役務費	1,084	(4) プラネタリウム事業経費	34,134	34,054
1 3 委託料	132,049	(5) その他運営費	384	384
1 4 使用料及び賃借料	10,379	3 施設維持管理費	193,928	183,001
1 5 工事請負費	25,434	4 市史編さん事業	24,787	7,647
1 9 負担金、補助及び交付金	102	(1) 相模原市史編さん費	9,620	3,523
2 7 公課費	9	(2) 津久井町史編さん費	15,167	4,124
		5 一般事務費	1,522	1,526
計	269,022	計	269,022	246,240
合計	269,054	合計	269,054	246,270

主な施設修繕箇所

- 博物館・照明設備更新修繕
 - ・プラネタリウム音響関連機器修繕
 - ・屋上防水修繕
 - ・シャッター開閉機修繕
 - ・防火扉修繕
 - ・加湿器修繕
- 尾崎号堂記念館・雨漏り修繕
- 吉野宿ふじや ・外柵工事修繕

教育普及

1 入館者数

(1) 29年度計 137,996 人 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(2) 総計 2,869,304 人

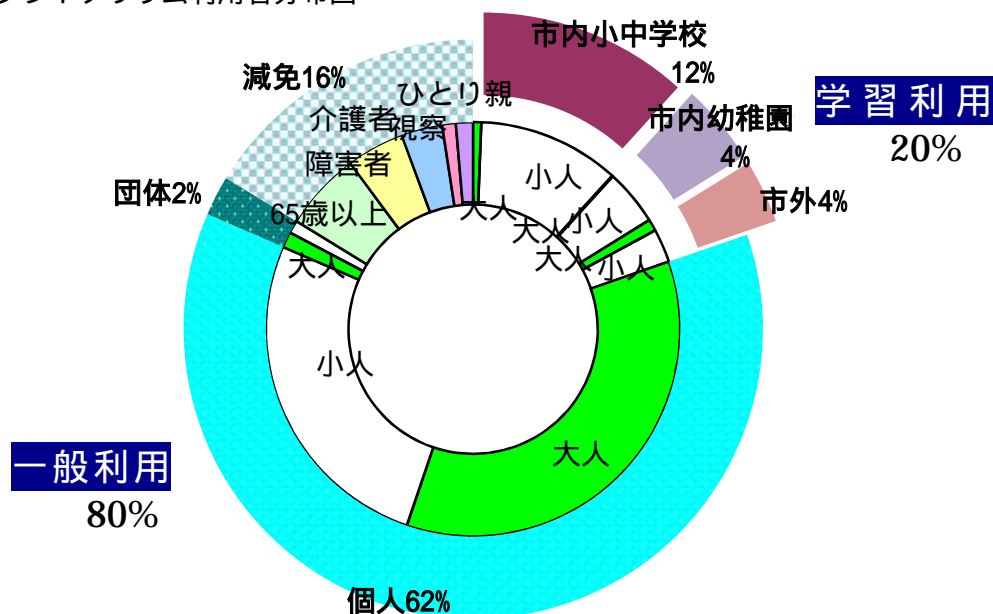
(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会講座等	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	学習投影						
4月	7,958	2,682	1,513	1,058	111	6,183	68	1,513	¥884,430	26	306
5月	8,894	3,616	2,124	817	675	3,474	182	1,640	¥1,073,700	26	342
6月	9,814	3,801	923	1,762	1,116	5,074	160	768	¥969,660	24	409
7月	16,444	7,795	3,137	4,006	652	4,510	189	1,018	¥2,293,770	26	632
8月	30,354	14,363	5,456	8,907	0	15,947	198	4,314	¥4,440,570	28	1,084
9月	9,446	4,069	1,999	1,531	539	4,922	195	597	¥1,203,030	26	363
10月	9,140	3,455	1,565	733	1,157	6,216	73	920	¥970,170	26	352
11月	12,119	6,048	1,316	558	4,174	5,716	135	2,014	¥622,800	25	485
12月	8,379	4,280	1,187	806	2,287	5,995	69	952	¥612,420	24	349
30年1月	6,761	2,657	1,448	1,121	88	4,641	134	835	¥814,660	22	307
2月	8,846	2,816	1,731	727	358	5,315	74	1,455	¥822,180	24	369
3月	9,841	3,663	1,639	1,504	520	4,883	111	915	¥965,890	27	364
29年度計	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941	¥15,673,280	304	454

* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114	¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167	¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941	¥15,673,280	304	454
総計	2,869,304	1,221,826	484,691	488,246	248,889	1,262,283	29,209	171,801	¥333,587,420	6,761	424

プラネタリウム利用者分布図



2 企画展等

(1) 考古企画展「相模原市の遺跡 2017 博物館 de トレジャーハンター」

ア 内容 さまざまな時代の考古資料を 12 のテーマに沿って展示し、クイズに答えながら、子どもから大人まで楽しく相模原の歴史を学ぶことができる参加型なぞ解き展とした。また、近年行われた発掘調査の最新の成果を速報展として同時開催した。

イ 期間 3月18日(土)～5月7日(日)

ウ 観覧者 平成28年度 4,907人

平成29年度 8,815人

延べ 13,722人

エ 関連事業

博物館 de クイズラリー

日時 3月19日(日)ほか全8回

参加者 延べ 3,625人

記念講演会 「縄文世界の土偶 ～形の変化とその面白さ～」

講師 原田 昌幸(文化庁主任文化財調査官)

日時 4月2日(日)

参加者 105人

さがみはら発掘調査成果発表会

日時 4月23日(日)

講師 各発掘調査担当者

参加者 105人

縄文ワークショップ

日時 5月5日(金・祝)

参加者 150人

ミュージアムトーク

日時 4月9日(日)・5月7日(日)

講師 当館学芸員

参加者 39人

図書館×博物館「博物館 de トレジャーハンター 図書館出張ミニ展示」

日時 4月1日(土)～5月7日(日)

(2) 砂展「日本の砂・海外の砂」

ア 内容 相模川をはじめ、日本各地の砂や海外のいろいろな砂を展示した。また、砂の中に含まれる微生物や内出中学校文化研究部が行った相模海岸の砂に関する研究も紹介した。

イ 期間 5月27日(土)～7月2日(日)

ウ 観覧者 延べ 7,147人

エ 関連事業

企画展展示解説

実施日 5月28日(日) 6月11日(日) 6月25日(日)

講師 当館学芸員

参加者 延べ 100人

「いろいろな砂を顕微鏡で見てみよう」

実施日 6月18日(日)

講師 当館学芸員

参加者 151人

(3) 収蔵品展 「江戸から昭和の津久井～さまざまな資料に見る郷土の姿～」

ア 内容 絵葉書をはじめ、雑誌やポスター、すごろく、昔の道具など、主に津久井地域のかつての姿を伝えるさまざまな資料を紹介した。

イ 期間 7月22日(土)～9月3日(日)

ウ 観覧者 延べ 21,515人

エ 関連事業

・展示解説

実施日 7月30日(日)・8月20日(日)

参加者 延べ 42人

・チャレンジ体験

内容 すごろくなどの昔のあそびや生活体験

実施日 7月23日(日)・8月27日(日)

参加者 延べ 598人

(4) 企画展 JAXA × 博物館「水金地火木土展～カイ・メイ！太陽系探査の軌跡～」

ア 内容 私達の住む地球、そして太陽系、これまでにさまざまな人工衛星や探査機が打ち上げられ、その姿やしぐみを明らかにしてきた。この展示では宇宙や宇宙科学の歴史、最先端の技術等に触れながら、太陽系について紹介した。

イ 期間 9月16日(土)～10月29日(日)

ウ 観覧者 延べ 10,080人

エ 関連事業

JAXA宇宙科学研究所職員による企画展みどころ解説ツアー

実施日 10月22日(日)

講師 大川 拓也(JAXA 宇宙科学研究所)

参加者 24人

(5) 学習資料展「ちょっと昔の暮らし～ジジ、ババ、ママ、ママの子ども時代～」

ア 内容 昭和30年代頃(祖父母の子どもの頃)と50年代頃(親の子どもの頃)の2つの時代をタイムトンネル風にブースで分け、学校風景、電化製品、おもちゃ等を中心に展示した。

イ 期間 11月14日(火)～平成30年2月25日(日)

ウ 観覧者 延べ 21,667人

エ 関連事業

昔の道具や遊びが体験できるチャレンジ体験コーナー

日時 11月19日(日)ほか全7回

参加者 延べ 1,548人

(6) 考古企画展「相模原市の遺跡 2018 博物館 de トレジャーハンター」

- ア 内容 考古学者さながらに主に市内の遺跡から発見された考古資料の謎に立ち向かう、参加型謎解き企画展の第二弾。今回は「明治150年」の節目の年にちなみ、幕末～明治期の西洋文化の波を、考古学の観点からもひも解いた。
- イ 期間 平成30年3月17日(土)～5月6日(日)
- ウ 観覧者 平成29年度 4,883人(3月31日まで)
平成30年度 9,618人
延べ 14,501人

3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

(1) プラネタリウム おためしタイム(無料)

- ア 内容 日曜日・祝日の12時10分から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影した。 P P P 提案事業
- イ 実施日 日曜・祝日 全63回
- ウ 参加者 延べ 3,588人

(2) 国際博物館の日記念事業「展示解説ツアー」

- ア 内容 5月18日の「国際博物館の日」にちなみ、学習指導員及び学芸員による常設展示室の展示解説を行った。
- イ 実施日 5月13日(土)・14(日)
- ウ 参加者 延べ 30人

(3) 石仏講話(全5回)

- ア 内容 市内の石仏を資料として、その見方や調べ方をはじめ、相模原地域と津久井地域における石仏からみた歴史と文化について取り上げた。
- イ 実施日 5月20日(土)・7月15日(土)・8月19日(土)・9月16日(土)・10月14日(土)
- ウ 参加者 延べ 389人
- エ 講師 当館学芸員

(4) 軍都さがみはら探訪～矢部から淵野辺駅周辺をめぐる～

- ア 内容 軍都相模原にちなむ旧陸軍関係の史跡などを探訪し、案内解説した。
- イ 実施日 5月28(日)*応募多数のため6月4日(日)午前・午後にも実施。
- ウ 参加者 延べ 115人(28日 1回32人 6月4日 午前42人 午後41人)
- エ 講師 当館学芸員 *博物館ボランティア「市民学芸員」が随行協力

(5) プラネタリウム「はやぶさウィーク」

- ア 内容 6月13日の「はやぶさの日」にちなみ「はやぶさ」関連の全天周映画を上映した。6月13日には、無料で計2回の上映を行った。
- イ 実施日 6月10日(土)～18(日)(上映回数14回)
- ウ 観覧者 延べ 1,342人(プラネタリウム観覧者数に含む)

(6) 博物館 de 星まつり! セタでワッショイ!

- ア 内容 相模原の七夕に関するパネル展示を行った。笹飾りを用意し、願い事を書いた短冊を飾った。
- イ 実施日 6月24日(土)～7月7日(金)(12日間)
- ウ 関連事業
ワークショップ「星のストラップ作り」
実施日 7月1日(土)・2日(日)
参加者 延べ 330人

(7) 地球外生命の姿を描こう！～リアルVSイマジネーション；我輩は天才科学者である。きみたちは我輩を超えられるかね？～

- ア 内容 地球外生命や生命の起源についての話を聞き、自由に想像しながら参加した児童らが地球外生命の姿を描いた。
- イ 実施日 7月9日(日)
- ウ 対象者 小学生
- エ 講師 高井 研(海洋研究開発機構深海・地殻内生物圏研究分野分野長)
池下 章裕(スペースアートクリエイター)
- オ 参加者 46人

(8) 「夏休み 博物館で学習しよう！」

- ア 内容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。
- イ 実施日 7月22日(土)～8月31日(木)
- ウ 参加者 延べ 73人
- エ 講師 当館学芸員、学習指導員

(9) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」(全2回)

- ア 内容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。
- イ 実施日 7月30日(日)、8月6日(日)
- ウ 参加者 延べ 46人
- エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会

(10) 夏休み考古学教室 見て・触って・作ってみよう！ 縄文土器づくり体験(全2回)

- ア 内容 縄文土器作りの体験を通して、土器や遺跡について楽しく学んだ。
- イ 実施日 8月4日(金) 市立博物館
8月20日(日) 史跡勝坂遺跡公園
- ウ 参加者 延べ 29人
- エ 講師 小島 三雄(土器づくりの会)、当館学芸員

(11) 夏休み親子天文教室「手作り天体望遠鏡」

- ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、プラネタリウムで事前学習した後、共和小学校校庭で天体を観望した。
- イ 実施日 8月5日(土)
- ウ 参加者 23組61人
- エ 講師 天文担当職員、プラネタリウム解説員、相模原市立博物館天文クラブ会員、市民学芸員

(12) 探検！発見！クイズ&チャレンジ(全2回)

- ア 内容 幼児向けと小学生～大人向けの2コースで実施した。
触れる資料やクロスワードパズルを通してクイズに挑戦する体験型スタンプラリーを行った。
- イ 実施日 8月19日(土)・20日(日)
- ウ 参加者 延べ 737人
- エ 案内 市民学芸員・インターンシップ生

(13) 博物館 de 星まつり！ 伝統的七夕でワッショイ！

- ア 内容 エントランスに笹飾りを設置し、七夕伝承についてのパネル展やワークショップなどを開催した。
- イ 実施日 8月22日(火)～8月27日(日)(6日間)
- ウ 関連事業

ワークショップ「星のストラップ作り」

実施日 8月27日(日)

参加者 200人

(14) 小中学生のための生物学教室「動物の体のつくりを学ぼう」

ア 内容 生き物の体のつくりや生態について、標本を使った実習を行った。
学校で学ぶ理科とは少し違ったカメラマンの授業で学んだ。

イ 実施日 8月23日(水)

ウ 参加者 22人

エ 講師 松橋 利光(カメラマン)、後藤 貴治(ペットショップオーナー)

(15) JAXA相模原キャンパス特別公開

ア 内容 普段は公開していない研究施設や最新の研究内容を、JAXAに所属する研究者らが分かりやすく解説するイベント。
博物館においては、ワークショップ・トークイベント等を行った。

イ 実施日 8月25日(金)・26日(土)

ウ 来館者数 延べ 7,230人

エ 当館事業

プラネタリウムJAXA特集2Days!

実施日 8月25日(金)・26日(土)

参加者 延べ 1,315人(プラネタリウム観覧者数に含む)

みんなで描こう月面基地

実施日 8月25日(金)

参加者 30人

アストロバイオロジー特別講演会「深海と深宇宙の生命探査」

実施日 8月25日(金)

講師 矢野 創(JAXA 宇宙科学研究所)、高井 研(JAMSTEC)、
河口 優子(東京薬科大学)、山岸 明彦(東京薬科大学)

参加者 180人

宇宙教育センター「つくる・のこす」みんなのゆめ

実施日 8月25日(金)・26日(土)

参加者 延べ 1,773人

(16) さがみはら宇宙の日

ア 内容 毎月1回、天文・宇宙分野の講演やワークショップなどを開催した。奇数月には折々のテーマで開催し、偶数月には小惑星探査機「はやぶさ2」が目的地である小惑星 Ryugu(リュウグウ)に到達するまでの間、市民のみなさまの興味関心を深め、応援の気運を高めていくことを目的に、「はやぶさ2」トークライブを開催した。

イ 実施日・テーマ・講師

実施日 4月22日(土)

テーマ 「はやぶさ2」トークライブ Vol.8

「はやぶさ2の代わりに目撃せよ！-分離カメラ DCAM3 で衝突実験を観測する-」

参加者 107人

講師 澤田 弘崇(JAXA 宇宙科学研究所・はやぶさ2プロジェクト主任研究開発員)、小川 和律(神戸大学大学院理学研究科 技術職員)

実施日 5月13日(土)・14日(日)

テーマ 国際博物館の日記念事業「プラネタリウムこども無料デー」

観覧者 延べ 342人(プラネタリウム観覧者数に含む)

テーマ 「昼間の星の観望会」

参加者 延べ 288人

実施日 6月17日(土)

テーマ はやぶさ2トークライブ Vol.9

「みんなの想いを載せて・・・クレータにピンポイント着陸し、無事帰還せよ!」「推進系が切り拓く、次世代の探査ミッション」

参加者 127人

講師 森 治(JAXA 宇宙科学研究所 助教)

実施日 7月1日(土)

テーマ Asteroid Day in 相模原～天体の地球衝突に対処する～

参加者 83人

講師 吉川 真(JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、浅見 敦夫(日本スペースガード協会 副理事長)

実施日 8月26日(土)

テーマ 「はやぶさ2」トークライブ Vol.10

～JAXA相模原キャンパス特別公開スペシャル～

参加者 延べ 900人

講師 吉川 真(JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、津田 雄一(JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、大西 卓哉(JAXA 宇宙科学研究所宇宙飛行士)

実施日 9月23日(土)

テーマ 地球から太陽系を見てみよう!～昼間の星の観望会～

参加者 延べ 127人

実施日 10月7日(土)

テーマ 「はやぶさ2」トークライブ Vol.11

「リュウグウよりの玉手箱：はやぶさ2カプセルと、さらなる遠方天体からのサンプル回収の秘策」

参加者 96人

講師 山田 哲哉(JAXA 宇宙科学研究所 准教授) 手話通訳を実施

実施日 11月23日(木・祝)

テーマ 宇宙フェスタさがみはら 2017～月面探査最前線～

参加者 リレー講演 320人

紙芝居 90人

記念撮影コーナー 150人

グルメブース利用者 190人

プラネタリウム 435人(プラネタリウム観覧者数に含む)

宇宙と音楽の夕べ 100人

月のプチ観望会 108人

実施日 12月2日(土)

テーマ 「はやぶさ2」トークライブ Vol.12

「「はやぶさ2」に期待するサイエンスの成果」

参加者 102人

講師 吉川 真(JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、アントネラ・バルッチ(パリ天文台)、マイケル・ゾレンスキー(NASA アメリカ航空宇宙局)、パトリック・ミッシェル(コートダジュール天文台)

実施日 平成 30 年 1 月 20 日 (土)

テーマ 研究機関等公開講座宇宙研究開発機構コース
「あらせ」衛星が挑むヴァン・アレン帯の探査

参加者 59 人

講師 篠原 育 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授)

共催 総合学習センター

実施日 平成 30 年 2 月 17 日 (土)

テーマ 「はやぶさ 2」トークライブ Vol.13
「「はやぶさ 2」のリモートセンシング機器とその観測について」

参加者 124 人

講師 杉田 精司 (東京大学 教授)、岩田 隆浩 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、岡田 達明 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授)、水野 貴秀 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授) 手話通訳・要約筆記を実施

実施日 平成 30 年 3 月 10 日 (土)

テーマ 「まちだ・さがみはら 絆(ばん)・創(そう)・光(こう) × JAXA」相模原会場

参加者 71 人 内 53 人は「(17) 星空観望会」と重複

講師 曾根 理嗣 (JAXA 宇宙科学研究所 准教授)

共催 環境政策課

(17) 星空観望会

ア 内容 季節に応じた天体を望遠鏡などで観望し、天文教育の普及を図った。

イ 実施回数 計 25 回 (原則月 2 回、金曜日または土曜日に開催。7・8 月は各 3 回、12 月は 1 回開催。定員は 3 月 10 日分を除き各回 120 人)

ウ 参加者 延べ 1,588 人

エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員

(18) 生きものミニサロン (全 12 回)

ア 内容 博物館周辺で身近な生きものを観察した。

イ 実施日 4 月 22 日 (土) ~ 平成 30 年 3 月 24 日 (土)

ウ 参加者 延べ 403 人

エ 講師 当館学芸員

(19) 中世さがみはら探訪-上溝周辺の中世伝承を巡る-

ア 内容 上溝周辺に伝わる鎌倉時代から戦国時代の伝承地などを探訪した。

イ 実施日 9 月 9 日 (土)

ウ 参加者 38 人

エ 講師 当館学芸員、博物館実習生、* 博物館ボランティア「市民学芸員」が随同行協力

(20) 考古学講座 戦国時代の山城 津久井城 (全 6 回)

ア 内容 戦国時代の山城である津久井城に関わる連続講座と発掘調査の現地説明会。

イ 実施日・テーマ・講師

9 月 24 日 (日) 小田原城研究から津久井城をみる

講師：当館学芸員

参加者：222 人

10 月 29 日 (日) 発掘調査から津久井城をみる

講師：野口 浩史 (県立津久井湖城山公園副園長)

参加者：110 人

11 月 26 日 (日) 津久井城跡発掘調査現地説明会

参加者：180 人

12 月 24 日 (日) 三増合戦から津久井城をみる

- 講 師：山口 研一（愛川町郷土資料館館長）
参加者：228人
1月14日（日） 中世庭園から津久井城をみる
講 師：当館学芸員
参加者：198人
2月25日（日） 北条領国の城郭から津久井城をみる
講師：佐々木 健策（小田原城天守閣学芸員）
参加者：227人
ウ 参加者 延べ 1,165人

(21) 歴史講演会 戦国の今川・井伊・津久井

- ア 内 容 NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」時代考証を担当している講師が、駿河の戦国大名今川氏や井伊氏と津久井との関連等についての講演を行った。
イ 実施日 10月1日（日）
ウ 参加者 200人
エ 講 師 大石 泰史（大石プランニング主宰）

(22) 初心者のための植物学教室（全2回）

- ア 内 容 身近な野生植物の名前や成長の仕方などを学ぶ初心者向け教室を開催した。
イ 実施日 10月7日（土）・14日（土）
ウ 参加者 延べ 19人
エ 講 師 当館学芸員

(23) 火山灰を顕微鏡で見よう

- ア 内 容 関東ローム層や日本各地の火山灰中に含まれる鉱物を顕微鏡で観察した。また、火山灰中に含まれる鉱物の洗い出し作業も体験した。
イ 実施日 10月15日（日）
ウ 参加者 194人
エ 講 師 当館学芸員、相模原地質研究会、弥栄高校サイエンス部

(24) 市史講演会 相模原市の軍隊と地域

- ア 内 容 市史近代資料編の刊行を記念して、近代以降の「相模原」が陸海軍とどのように関わっていったか、地域住民がいかにして戦争に動員されていったか、について講演を行った。
イ 実施日 10月15日（日）
ウ 参加者 114人
エ 講 師 高村 聡史（相模原市史近現代部会員、國學院大學 講師）

(25) 民俗学講演会「伝説」ってなんだろう？～相模原市の民話から考える～

- ア 内 容 身近な民話を出発点に「伝説」の本質と意味、現在の様相について説明した。また、民俗学研究の新しい潮流の中での伝説についても触れた。
イ 実施日 11月5日（日）
ウ 参加者 110人
エ 講 師 飯倉 義之（國學院大學 准教授）

(26) 学芸員リレートーク（全5回）

相模原市立博物館の学芸員5人が講話を実施し、多様な分野にわたる市民の学習の場を提供する機会とした。

- ア 火山がつくった相模原台地
内 容 相模原台地の地形・地質の特徴と成り立ちについて解説した。
実施日 11月18日（土）参加者 130人

- イ 相模原が“柴胡が原”と呼ばれていたころ
内 容 相模原台地を指す古い地名「柴胡が原」の由来と土地利用の変遷について、
学芸員が分かりやすく解説した。
実施日 12月10日(日)
参加者 133人

- ウ 中世庭園から津久井城をみる 詳細は考古学講座に掲載

- エ 謎のさがみはら中世武士列伝
内 容 鎌倉時代から戦国時代ごろの市内に伝わる謎多き武士について解説した。
実施日 平成30年2月11日(日)
参加者 162人

- オ 津久井の祭り
内 容 当館学芸員が津久井地域のまつりについて解説した。
実施日 平成30年3月11日(日)
参加者 87人

(27) 未知なる宇宙の謎を解き明かす新たな鍵～ハッブルからジェームズ・ウェッブへ～

- ア 内 容 JAXA宇宙科学研究所、NASAアメリカ航空宇宙局、ノースロップ・グラマン社から講師を招き、日本の天体観測衛星や2019年に打ち上げが予定されているジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡についての講演などを行った。

- イ 実施日 11月18日(土)

- ウ 参加者 80人

- エ 講 師 アルベルト・コンティ(ノースロップ・グラマン社天体物理学博士)、カーリー・ベスティ(ノースロップ・グラマン社社会貢献室 ディレクター)、デビー・フィッツジェラルド・シモンズ(ノースロップ・グラマン社 ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡システム・エンジニアリング ディレクター)、カーヴィー・マッキントッシュ(NASA アメリカ航空宇宙局アジア担当代表)、和田 武彦(JAXA 宇宙科学研究所 助教)

(28) 学びの収穫祭

- ア 内 容 相模原市を拠点に活動する市民や学生による研究発表会のほか、博物館の紹介やワークショップも開催した。

- イ 実施日 11月18日(土)・19日(日)

- ウ 参加者 延べ 270人

- エ 関連事業 ワークショップ「コースター作り」 参加者 50人
昼間の星の観望会 参加者 80人

(29) あかつきトークライブ番外編

- ア 内 容 金星探査機「あかつき」の基本から最新情報までの話のほか、実際のデータを使って金星大気の動きを調べる体験学習を行った。

- イ 実施日 12月9日(土)

- ウ 参加者 94人

- エ 講 師 中村 正人(JAXA 宇宙科学研究所 教授)、今村 剛(東京大学 教授)

(30) プラネタリウム クリスマスほしぞらコンサート

- ア 内 容 ドームの中の星空を見上げながら、クリスマスの音楽を生演奏で楽しんだ。
PPP提案事業

- イ 実施日 12月16日(土)

- ウ 出演者 せのお みほ(ピアノ)、須藤 ヒサシ(ベース)、服部 恵(パーカッション)、
江部 和幸(ギター・バイオリン)

エ 参加者 212人

(31) 歴史講座 戦国へと繋がる相模のものふたち (全3回)

ア 内容 鎌倉時代に活躍した武士の中で戦国大名などになった「相模ものふ」たちを紹介し、ゆかりの地を探訪した。

イ 実施日 座学 12月17日(日)

探訪 平成30年1月13日(土)小松城

平成30年1月27日(土)鎌倉周辺

ウ 参加者 延べ 109人(全3回)

エ 当館学芸員 *探訪には博物館ボランティア「市民学芸員」が随行協力

(32) 地質学講座 学びなおし地質学 小学校編 (全4回)

ア 内容 小学校で習う地質分野の内容を、実験などを通して学んだ。

イ 実施日 平成30年1月20日(土)、2月3日・17日(土)、3月3日(土)

ウ 参加者 延べ 37人

エ 講師 当館学芸員

(33) バレンタインコンサート IN プラネタリウム ~ハンドベルの響きと星々の輝き~

ア 内容 星空の解説とハンドベル演奏を楽しんだ。

イ 実施日 平成30年2月11日(日)

ウ 出演者 イングリッシュハンドベルサークル クローバーベルフレンズ

エ 参加者 218人

(34) 今年もやります! 繭うさぎづくり

ア 内容 市民学芸員とともに繭を使った繭うさぎ作りを行った。

イ 実施日 平成30年2月12日(月・祝)

ウ 参加者 220人

エ 講師 市民学芸員、当館学芸員

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 投影等開始時間

平日(火~金(特別上映期間を除く))

午後2時40分・午後3時50分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前11時00分・午後1時30分・午後2時40分・午後3時50分ほか

(2) 一般投影

テーマ解説

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 火星の月をさぐる~火星衛星探査機MMXがめざすもの~

4月5日(水)~4月23日(日)、8月25日(金)・26日(土)

プラネタリウムでGO! 南半球の星空めぐり

4月25日(火)~6月9日(金)

13億kmかなたの環をくぐれ!

~土星探査機カッシーニ最後のミッション~

6月20日(火)~9月3日(日) 8月25・26日を除く

もっと宇宙へ! 日本の太陽系探査~「はやぶさ」「かぐや」たちが教えてくれたこと~

8月25日(金)・26日(土)

ウソ? ホント? 「金星と地球は双子星」~あきらめなかった金星探査機

「あかつき」の成果~

9月5日(火)~11月5日(日)

2017 冬「流れ星をみつけよう」～流星群シーズンがやってくる～
11月7日(火)～12月28日(木)
「だれかいますか?」～いつかは行ってみたい太陽系外惑星!～
平成30年1月4日(木)～3月4日(日)
太陽系総選挙～みんなの1番紹介します～
平成30年3月6日(火)～3月31日(土)

こどもプラネタリウム

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
イ 番組 リーベルタース天文台だより 春の星座の物語
4月1日(土)～5月28日(日)
平成30年3月3日(土)～3月31日(土)
ナナとハチ～ちきゅうにおちてきたネコのものがたり～
5月13日(土)・14日(日)
リーベルタース天文台だより 夏の星座の物語
6月3日(土)～9月3日(日)
リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語
9月9日(土)～11月26日(日)
おしえて!さがぼん～お月さまってなぁに?～
11月23日(木・祝)
リーベルタース天文台だより 冬の星座の物語
12月2日(土)～平成30年2月25日(日)

星空模様

ア 内容 解説員による季節の星空解説(所要約40分)
春: 4月1日(土)～5月28日(日)
平成30年3月3日(土)～3月11日(日)
夏: 6月3日(土)～7月9日(日)
秋: 9月9日(土)～11月26日(日)
冬: 12月2日(土)～平成30年2月25日(日)

全天周映画

ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
イ 番組 いきものがたり～いきものはみんな星からできている～
4月1日(土)～7月14日(金)
9月5日(火)～平成30年3月31日(土)
平成30年2月2日(金)～2月4日(日)を除く
HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE リュウグウ版
6月10日(土)～6月18日(日)
8月25日(金)・26日(土)
平成30年2月2日(金)～2月4日(日)
HAYABUSA BACK TO THE EARTH 帰還バージョンDC版
6月10日(土)～6月18日(日)
8月25日(金)・26日(土)
ドラえもん宇宙ふしぎ大探検2～太陽系のひみつ～
7月15日(土)～9月3日(日)
ダイナソーDX～パタゴニア・巨大恐竜の謎～
7月15日(土)～9月3日(日)
名探偵コナン～星影の魔術師～
12月23日(土)～平成30年1月8日(月・祝)
平成30年3月17日(土)～3月31日(土)

(3) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
 イ 番組 小中学校向け「今晚の星空」
 「空を見上げて(夏・冬)」
 「宇宙への旅」
 幼児向け「リーベルタース天文台だより」(春・夏・秋・冬)
 「ピーターパンのぼうけん」
 「3, 2, 1, 0しゅっぱつしんこう ぼくらのうちゅうりょこう」
 「おしえて! さがぼん お月さまってなあに?」
 「ワクワクさがぼん! 惑星めぐり」

- ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影
 エ 観覧者 延べ 11,677人

(4) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校や報道機関等に発送。博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載。

5 情報サービスコーナー

- ビデオ作品年間視聴回数 計 58回
 DVDライブラリー作品年間視聴回数 計 169回

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2) 委員構成

任期2年(平成28年7月1日~平成30年6月30日) 委員長 副委員長

氏 名	備 考
坂本 実	由野台中学校教諭
尾崎 昭弘	上鶴間小学校教諭
金子 明弘	新宿小学校教諭
澤井 勇水	桂北小学校教諭
横田 諒太	相模台小学校教諭
奥山 和音	田名中学校教諭
大森 英人	麻溝台中学校教諭

(3) 活動状況

開催日	主な内容
7月27日(木)	博物館における学校連携について 今年度研究会の進め方と貸出しキット指導プランの検討
12月 5日(火)	貸出しキットを用いた授業実践の検討 貸出しキット指導プランの総括に向けて
平成30年 3月 7日(水)	学校教育における博物館資料の利用について(とりまとめ)

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 研究報告
- エ イベントニュース(年4回発行)

(2) 有償刊行物一覧(平成30年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 534,240 円

博物館 図録・報告書等売上

合計 50冊 32,410 円

ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7 . 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8 . 2	完売
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	¥350	H 8 . 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8 . 11	完売
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	¥2,550	H 9 . 7	完売
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	¥700	H 9 . 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10 . 9	完売
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	¥1,200	H 11 . 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11 . 10	完売
花を描き、花を知る - 植物画の魅力 -	¥1,200	H 12 . 7	完売
幕末・維新の相模原 - 村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち -	¥1,500	H 12 . 10	完売
星の測量 - 角度をはかり、位置をもとめる -	¥700	H 13 . 7	3
“道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	¥1,500	H 13 . 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14 . 7	5
水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 -	¥1,000	H 15 . 7	1
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16 . 7	2
相模原 - その開発と変貌 -	¥800	H 16 . 10	12
地球46億年	¥900	H 17 . 7	5
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18 . 10	完売

イ 報告書等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10 . 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11 . 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12 . 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13 . 3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14 . 3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15 . 3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16 . 3	1
研究報告第14集 2005	¥900	H 17 . 3	1
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18 . 3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19 . 3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20 . 3	0
研究報告第18集 2009	¥700	H 21 . 3	1
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22 . 3	-
研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24 . 3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25 . 3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26 . 3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H 27 . 3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H 28 . 3	-

研究報告第 25 集 2017	配布のみ	H 29 . 3	-
研究報告第 26 集 2018	配布のみ	H 30 . 3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10 . 3	完売
地図資料目録 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12 . 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13 . 3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14 . 3	2
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	0
資料目録 5 相模原植物誌	¥600	H 15 . 3	2
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	2
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	0
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	12

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	完売

合 計	¥ 32,410	50
-----	----------	----

市史・町史

博物館、公文書館、市役所行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店で販売

市史・町史合計 243冊 501,830 円

ア 相模原市史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	4
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	1
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	1
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	2
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	1
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	2
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	2
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	9
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	4
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	8
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	3
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	1
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	8
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	20
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	8
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	10
相模原市史 近代資料編	¥3,240	H 29 . 5	10
相模原市史 別編 H30.6～販売	¥1,690	H 30 . 2	0
相模原市史 別編CD版 H30.6～販売	¥920	H 30 . 2	0
相模原市史 ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	6
相模原市史 ノート第 2 号	¥700	H 17 . 3	4
相模原市史 ノート第 3 号	¥600	H 18 . 3	2
相模原市史 ノート第 4 号	¥600	H 19 . 3	3
相模原市史 ノート第 5 号	¥600	H 20 . 3	1
相模原市史 ノート第 6 号	¥700	H 21 . 3	0
相模原市史 ノート第 7 号	¥700	H 22 . 3	0
相模原市史 ノート第 8 号	¥650	H 23 . 3	1

相模原市史ノート第 9 号	¥700	H 24 . 3	5
相模原市史ノート第 10 号	¥700	H 25 . 3	4
相模原市史ノート第 11 号	¥700	H 26 . 3	1
相模原市史ノート第 12 号	¥700	H 27 . 3	0
相模原市史ノート第 13 号	¥700	H 28 . 3	2
相模原市史ノート第 14 号	¥720	H 29 . 3	13
相模原市史ノート第 15 号 H30.6～販売	¥760	H 30 . 3	0
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	1
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書 4 相模原市域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	4
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	0
合 計	¥289,590		143

イ 城山町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史 1 資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	1
城山町史 2 資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	2
城山町史 3 資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	2
城山町史 4 資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	1
城山町史 5 通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	1
城山町史 6 通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	2
城山町史 7 通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	2
城山風土記 1 近現代編	¥600	H 3 . 3	0
城山風土記 2 近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	2
城山風土記 3 九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	3
城山風土記 4 歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	1
城山風土記 5 町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	2
城山町史資料所在目録 近世文書	¥3,600	S 60 . 3	1
城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	1
城山町史新聞記事目録	¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓(復刻版)	¥1,100	H 18 . 3	4
合 計	¥71,550		25

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	1
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	5
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	3
津久井町史 資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	1
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	4
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 27 . 3	6
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	17
津久井町史 文化遺産編 H30.6～販売	¥4,060	H 30 . 3	0
ふるさと津久井 第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第 3 号(特別号)津久井の古地図	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第 4 号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第 5 号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24 . 3	7
ふるさと津久井 第 6 号	¥820	H 26 . 3	8
ふるさと津久井 第 7 号	¥790	H 29 . 3	16

津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	¥1,700	H 16 . 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	¥1,500	H 20 . 3	1
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	1
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 1	¥2,300	H 22 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 1	¥1,850	H 22 . 2	0
津久井町史資料叢書 事務報告 2	¥1,850	H 22 . 2	0
合 計	¥133,490		71

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	0
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	0
合 計	¥0		0

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	0
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	0
ふじの町史 研究誌 (第 1 号)	¥600	H 2 . 3	完売
ふじの町史 研究誌 (第 2 号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 3 号)	¥600	H 5 . 3	1
ふじの町史 研究誌 (第 4 号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌 (第 5 号)	¥600	H 8 . 3	1
合 計	¥7,200		4

(3) 広報活動

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組

NHK、J:COM、エフエムさがみなど、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、エフエムさがみレギュラー枠「博物館探検隊」を月 1 回放送した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、夢の丘小学校、鳥屋出張所に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 市立図書館の貸出期限票の裏面活用

図書館で資料を貸出す際に手渡す貸出期限票の裏面に博物館のイベントの内容を印刷し、配布を依頼した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月1日～9月18日の内実質9日間に18人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大学	人数	分野	大学	人数
考古	法政大	1	民俗	日本大	1
	駒澤大	1		桜美林大	1
	東海大	2		東京造形大	1
歴史	学習院大	1		明星大	1
	青山学院大	1	生物	東京農業大	1
	鶴見大	1		日本大	1
	帝京大	1		東京都市大	1
地質			桜美林大	1	
			国土館大	1	
			日本大	1	

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習、職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	16	1,227	8月	33	864	12月	28	2,181
5月	23	1,346	9月	20	912	1月	13	513
6月	43	1,891	10月	35	2,026	2月	27	1,120
7月	37	1,208	11月	69	4,807	3月	31	1,374
						年計	375	19,469

10 インターンシップ

相模原市役所職員研修所の依頼により8月19日・20日・25日・26日・27日の5日間にインターンシップとして、高校生1名、大学生1名を受け入れた。

桜美林大学の依頼により同大学学生2名を東京都ECO-TOPインターンとして2月24日～3月10日の内、5日間受け入れた。

1 1 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校・高校・他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数 計 66 件 聴講者 延べ 3,960 人

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	新採用職員研修「相模原の歴史」	職員研修所	歴史	4月5日(水)	けやき会館	木村 弘樹
2	考古学企画展の見学と展示説明	相模原市文化財調査・普及員 考古班	考古	4月13日(木)	相模原市立博物館	中川 真人
3	第1回環境学習セミナー	環境情報センター	生物	4月15日(土)	相模原市立博物館	秋山 幸也
4	勝坂を学ぼう！自然体験「野鳥のさえずりと春を楽しむ」	文化財保護課	自然	5月14日(日)	勝坂遺跡公園	秋山 幸也
5	こんな人物、あんな場所-相模原市の意外(?)な歴史話	神奈川県保険医協会	歴史	5月17日(水)	小田急ホテルセンチュリー相模大野	木村 弘樹
6	ツバメの巣観察講座	町田市環境・自然共生課	生物	5月20日(土)	町田市生涯学習センター	秋山 幸也
7	田名半在家遺跡出土資料の実見及び博物館の見学	相模の古代を考える会	考古	5月20日(土)	相模原市立博物館	中川 真人
8	蚕を育てることは、どういうことなのか？	上溝南小学校	生物	5月30日(火)	上溝南小学校	秋山 幸也
9	ホテル観賞会	田名公民館	生物	5月31日(水)	田名公民館・望地キャンプ場	秋山 幸也
10	出前授業「カイコのはなし」	上溝小学校	生物	6月1日(木)	上溝小学校	秋山 幸也
11	出前授業「カイコのはなし」	共和小学校	生物	6月1日(木)	望地キャンプ場周辺	秋山 幸也
12	ふれあいゼミナール「考古学体験」	由野台中学校	考古	6月3日(土)	由野台中学校	中川 真人
13	相模原市中世の歴史	大野中公民館	歴史	6月6日(火)	大野中公民館	木村 弘樹
14	出前授業「カイコのはなし」	桂北小学校	生物	6月7日(水)	桂北公民館	秋山 幸也
15	出前授業「カイコのはなし」	星が丘小学校	生物	6月7日(水)	大野台中央小学校	秋山 幸也
16	「生き物いっぱい ふしぎ発見大野台」	大野台中央小学校	生物	6月8日(木)	川尻小学校	秋山 幸也

17	出前授業「カイコのはなし」	川尻小学校	生物	6月8日(木)	川尻小学校	秋山 幸也
18	植物考古学でみる相模原の歴史	相模原市文化財調査・普及員 考古班	考古	6月8日(木)	相模原市立博物館	中川 真人
19	出前授業「カイコのはなし」	上溝小学校	生物	6月9日(金)	上溝小学校	秋山 幸也
20	出前授業「カイコのはなし」	作の口小学校	生物	6月9日(金)	作の口小学校	秋山 幸也
21	出前授業「カイコのはなし」	清新小学校	生物	6月16日(金)	清新小学校	秋山 幸也
22	博物館実習(博物館見学)	東京家政学院 大学生生活文化博物館	博物館	6月17日(土)	相模原市立博物館	加藤 隆志
23	博物館実習(博物館見学)	神奈川大学	博物館	7月2日(日)	相模原市立博物館	秋山 幸也
24	地学巡検	麻布大学	生物	7月2日(日)	相模原市立博物館	河尻 清和
25	さがみはら地域づくり大学 基礎コース「相模原市を知ろう、学ぼう」「相模原市の文化」	公益社団法人 相模原・町田 大学地域コンソーシアム	歴史	7月5日(水)	ユニコムプラザさがみはら	木村 弘樹
26	さがみはら地域づくり大学 基礎コース「相模原市を知ろう、学ぼう」「相模原市の文化」	公益社団法人 相模原・町田 大学地域コンソーシアム	民俗	7月5日(水)	ユニコムプラザさがみはら	加藤 隆志
27	相模原市史考古編の中・近世関連歴史話	相模原市文化財調査・普及班 考古班	歴史	7月13日(木)	相模原市立博物館	木村 弘樹
28	学芸員課程見学実習	桜美林大学	博物館	7月15日(土)	相模原市立博物館	河尻 清和
29	銀河連邦建30周年記念「子どもワールドサミット」	シティセールス・親善交流課	天文	8月4日(金)	谷口台小学校	学習指導員 和田 再生
30	第57回社会教育研究全国集会第16分科会	社会教育推進全国協議会	博物館	8月27日(日)	相模原市立博物館	秋山 幸也
31	青根小中学校職員研修	青根中学校	歴史	8月28日(月)	青根中学校 青根周辺	井上 泰
32	地学実験	東京電機大学	地質	8月29日(火)	相模原市立博物館	河尻 清和
33	博物館実習見学	日本女子大学	博物館	8月30日(水)	相模原市立博物館	加藤 隆志
34	埋蔵文化財担当職員等講習会・現地説明会	神奈川県教育委員会	博物館	9月1日(金)	相模原市立博物館	中川 真人

35	あさみぞガイド研修会	麻溝まちづくりセンター	歴史	9月23日(土)	麻溝地域	木村 弘樹
36	歴史講座 陽光台地区の歴史	陽光台公民館	歴史	9月26日(火)	陽光台公民館	学習指導員 和田 再生
37	出前授業「カイコの飼育について」	もえぎ台小学校	生物	9月26日(火)	もえぎ台小学校	秋山 幸也
38	植生フィールドワーク	弥栄高校	生物	9月28日(木)	弥栄高校	秋山 幸也
39	新採用職員研修「相模原の歴史」	相模原市職員研修所	歴史	10月4日(水)	けやき会館	木村 弘樹
40	川原石のふしぎ	相模原市文化財保護課	地質	10月7日(土)	旧石器ハテナ館	河尻 清和
41	畑地かんがい用水説明案内	相小研社会科部南グループ地域教材チーム	歴史	10月11日(水)	相模原市立博物館・大野台・麻溝台地区周辺	木村 弘樹
42	大地の成り立ち	東林公民館成人セミナー	地質	10月15日(日)	相模原市立博物館	河尻 清和
43	博物館での人づくり～丹沢山麓の自然の記録・情報発信を介して～	丹沢大山自然再生委員会	生物	10月15日(日)	日本大学	秋山 幸也
44	箱根地域自然に親しむ運動箱根の冬鳥観察会	公益財団法人神奈川県公園協会	生物	10月24日(火)	神奈川恩賜箱根公園	秋山 幸也
45	学芸員資格を活かした就職活動及び学芸業務について	武蔵大学学芸員課程委員長	博物館	10月25日(水)	武蔵大学	加藤 隆志
46	平成29年度図書館活用講座「境川流域の古の人々～考古学で語る郷土の歴史～」	相模大野図書館	考古	11月7日(火)	相模大野図書館	中川 真人
47	さがみはら生物多様性ネットワーク会員交流会	さがみはら生物多様性ネットワーク	生物	11月7日(火)	産業会館	秋山 幸也
48	軍都さがみはら探訪の講義・案内	上鶴間公民館	歴史	11月16日(木)	相模原市立博物館及び淵野辺・矢部周辺	木村 弘樹
49	戦国時代に関する歴史話「徳川四天王ものがたり」	相模原市文化財保護課	歴史	11月26日(日)	古民家園	木村 弘樹
50	昔の向陽(小山)の様子	向陽小学校	歴史	11月28日(火)	向陽小学校	木村 弘樹
51	体験活動(岩石収集)	相模川自然の村野外体験教室	地質	12月7日(木)	相模川自然の村野外体験教室	河尻 清和
52	体験活動(岩石収集)	相模川自然の村野外体験教室	地質	12月8日(金)	相模川自然の村野外体験教室	河尻 清和
53	上溝の歴史を知る	小田急多摩線延伸・上溝駅	歴史	12月9日(土)	上溝公民館	木村 弘樹

54	相模原の歴史（溪松園周辺の史跡など）	公益社団法人 相模原まち・ みどり公社	歴史	12月13日（水）	溪松園	木村 弘樹
55	上溝の歴史を知る	小田急多摩線 延伸・上溝駅	歴史	12月15日（金）	上溝公民館	木村 弘樹
56	「七堂伽藍跡」建碑 60 周年 記念シンポジウム	茅ヶ崎市教育 委員会	考古	12月17日（日）	茅ヶ崎市役 所コミュニ ティホーム	中川 真人
57	田名公民館シニアライフプ ラン「祭」って何？「祭」 とはについて	田名公民館	民俗	12月23日（土）	田名公民館	加藤 隆志
58	お城 E X P O 2 0 1 7	商業観光課	歴史	12月23日（土）	パシフィコ 横浜会議セ ンター	木村 弘樹
59	田名公民館シニアライフプ ラン「軍都相模原」につい て	田名公民館	歴史	1月19日（金）	田名公民館	木村 弘樹
60	さがみはら地域づくり大学 応用コース「環境」「相模原 市の自然」	公益社団法人 相模原・町田 大学地域コン ソーシアム	生物	1月20日（土）	ユニコムプ ラザさがみ はら	秋山 幸也
61	大磯高等学校「未来の夢講 座」	大磯高等学校	博物館	2月2日（金）	相模原市立 博物館	河尻 清和
62	シンポジウム 社会教育施 設の実際と連携	国立教育政策 研究所	博物館	2月6日（火）	国立教育政 策研究所 社会教育自 薦研修セン ター	河尻 清和
63	多様性を伝える自然観察	自然環境復学 学会	生物	2月14日（水）	日本大学駿 河台キャン パス	秋山 幸也
64	第 17 回自然環境シンポジウ ム	酒匂川水系の 環境を考える 会	生物	2月18日（日）	神奈川県立 生命の星・ 地球博物館	秋山 幸也
65	向陽小学校 3 年生 総合 「交流発表会」	向陽小学校	歴史	3月2日（金）	向陽小学校	木村 弘樹
66	神奈川県考古学講座「謎の 敷石住居の現在	神奈川県考古 学会	考古	3月4日（日）	横浜市歴史 博物館	中川 真人

1 2 JAXA との協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA 相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーも行っている。

No.	時代	資料	遺跡名	図	出土位置	報告書
1	旧石器	槍先形尖頭器	淵野辺嶽之内下遺跡	33-643	L1H 層 P2 ブロック	吾妻考古学研究所 2010 『淵野辺嶽之内下遺跡』
2	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	69-53	16 号住居址	玉川文化財研究所 1998 『山王平遺跡 - 縄文時代編 - 』
3	縄文	土偶	淵野辺山王平遺跡	87-10	21 号住居址	玉川文化財研究所 1998 『山王平遺跡 - 縄文時代編 - 』
4	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	117-1	32 号住居址 埋甕	玉川文化財研究所 1998 『山王平遺跡 - 縄文時代編 - 』
5	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	153-4	43 号住居址	玉川文化財研究所 1998 『山王平遺跡 - 縄文時代編 - 』
6	縄文	縄文土器	淵野辺山王平遺跡	201-50-1	50 号土坑	玉川文化財研究所 1998 『山王平遺跡 - 縄文時代編 - 』
7	縄文	縄文土器 (釣手)	淵野辺嶽之内上遺跡	16-11	J3 号住居址	相模原市 No.51 遺跡発掘調査団 2004 『淵野辺嶽之内上遺跡』

1 3 市民との協働

(1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリーの企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志にて常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討や一部キャプションなどの修正、ふるさといろはカルタ制作、紙芝居の実演、学習カード作成を行った。

また、平成 29 年度に新規募集を行い、3 回の講習を経て新たに 22 名が加わり 55 人となった。

イ 登録者 55 人

ウ 参加者 延べ 909 人

(2) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、中学生の職業体験や博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。

イ 登録者 67 人

ウ 参加者 延べ 413 人

(3) 相模原地質研究会

ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を当館学芸員と協働で行った。

イ 登録者 18 人

ウ 参加者 延べ 124 人

(4) 相模原縄文研究会

ア 内容 市内の縄文時代などの遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭や考古企画展関連事業として、ワークショップや活動紹介を博物館と協働で行った。

イ 登録者 13 人

ウ 参加者 延べ 362 人

(5) 民俗調査会

ア 内 容 緑区藤野地区や愛川町・綾瀬市など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域の文化遺産や民俗に係わる見学を実施した。なお、平成 29 年度からそれぞれ別に活動していた民俗調査会 A (毎月第二水曜日実施) と民俗調査会 B (毎月第四土曜日実施) を統合して一つの会とし、活動自体は月二回実施している。

イ 登録者 23 人

ウ 参加者 延べ 241 人 (毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

(6) 水曜会

ア 内 容 旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行うほか、夏季に実施した収蔵品展「江戸から昭和の津久井～さまざまな資料に見る郷土の姿～」において、展示資料の選定から列品・撤収までの作業を担当した。

イ 登録者 19 名

ウ 参加者 延べ 380 人 (毎月 2 ～ 3 回程度実施している作業等に参加した人数)

(7) 相模原市立博物館天文クラブ

ア 内 容 博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。

イ 登録者 35 人

ウ 参加者 延べ 57 人 (計 11 回実施された天体写真撮影及びその内容の記録化、資料化へ参加した人数)

(8) 福の会

ア 内 容 大型・生活資料収蔵庫の受入番号や配架番号等の確認などの再整理作業及び、博物館に移動した旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認作業を実施した。

イ 登録者 10 名

ウ 参加者 延べ 146 人 (毎月 2 回程度実施している作業に参加した人数)

(9) さがみはら動物標本クラブ

ア 内 容 平成 26 年度から活動を始めたボランティアグループ。博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。

イ 登録者 25 人

ウ 参加者 延べ 70 人

(10) 尾崎行雄を全国に発信する会

ア 内 容 平成 28 年度で協働事業が終了した尾崎号堂記念館の普及事業については、平成 29 年度は尾崎行雄を全国に発信する会に企画・運営を委託し、「尾崎号堂記念館展示・普及事業委託」にて、企画展や近現代史講演会を開催した。また、尾崎号堂関係の収蔵資料の再点検、整理、収納、目録作成を委託事業にて実施した。

(11) NPO 法人ふじの里山くらぶ

ア 内 容 平成 27 年度に協働事業が終了した吉野宿ふじのの普及事業については、「吉野宿ふじの活性化事業」をプロポーザル方式で選定した「ふじの里山くらぶ」に企画・運営を委託し、「藤野の養蚕」展などの企画展や関連事業等を開催した。

資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	保管場所	収蔵点数 (H30.3.31現在)	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,360	箱
		自然・歴史展示室	898	点
		他館等長期貸出資料	626	点
	分野計		7,884	点
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	7,116	点
		生活資料収蔵庫	1,209	点
		特別収蔵庫	61,837	点
		自然・歴史展示室	126	点
	軍事資料	生活資料収蔵庫	1,633	点
		自然・歴史展示室	34	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点
分野計		103,042	点	
民俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	22,795	点
		自然・歴史展示室	141	点
		他館等長期貸出資料	36	点
	分野計		22,972	点
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	160	点
		自然・歴史展示室	50	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	3,233	点
		自然・歴史展示室	34	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,042	点
		自然・歴史展示室	12	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	188	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	646	点
		自然・歴史展示室	5	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	45	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野計		11,419	点	

平成 29 年度 相模原市立博物館 年報

動 物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点
		自然・歴史展示室	16	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	38,813	点
		自然・歴史展示室	18	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	594	点
		自然・歴史展示室	14	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	点
		自然・歴史展示室	40	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野 計		39,770	点	
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	55,902	点
		自然・歴史展示室	21	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
	分野 計		55,929	点
天 文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点
	購入資料	天文展示室	14	点
	分野 計		2,122	点
合 計		243,138		

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (H30.3.31現在)	単位
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	398	点
	書	美術品収蔵庫	55	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	点
合 計			2,567	

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (H30.3.31現在)	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数 (H30.3.31現在)	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	箱
		城山郷土資料保管庫	226	箱
		吉野宿ふじや	160	箱
	分野計		797	箱
歴史	歴史資料	尾崎号堂記念館	3,816	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		城山郷土資料保管庫	95	箱
	吉野宿ふじや	669	箱	
分野計		4,834	点	
民俗		小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
	分野計		2,721	点
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
合計			8,467	

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数 (H29.9.30現在)	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
尾崎号堂記念館	歴史	歴史資料	3,816	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
施設計			655	点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	226	箱
	歴史	歴史資料	95	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
施設計			1,171	
吉野宿ふじや	考古	考古資料	160	箱
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点
	動物	昆虫類	115	点
施設計			2,414	
合計			8,467	

博物館資料に関する図書等

博物館	図書	市民研究室等	38,928	点
	ビデオ・CD-ROM、DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,814	点
	分野計		43,147	

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）寄贈寄託考古資料の整理作業
歴史	寄贈・寄託歴史資料の分類整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理、旧津久井郷土資料室所蔵紙資料の整理
民俗	収蔵資料のカード及び収蔵番号の整備、津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 購入資料

区 分	内 容
展示模型	東原古墳復元模型

4 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。洗浄乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により定期的なくん蒸を実施した。特別収蔵庫・古文書収蔵庫・美術品収蔵庫を1回、収蔵資料を対象に密閉くん蒸を実施した。

(2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

5 資料の特別利用

利用総件数 119件（平成29年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

利用資料	利用区分	利用期間	申請者	利用目的
相模川小倉の渡し他	館外貸出	4/30	品川区立品川歴史館	出版掲載
勝坂遺跡D区出土品	館外貸出	4/1～3/31	相模原市文化財保護課	展示
田名塩田遺跡群出土品他	館外貸出	7/2～10/14	國學院大學博物館	展示
手回し洗濯機他	館外貸出	4/29～5/7	埼玉県生活科学センター	展示
田名半在家遺跡G地点出土品	閲覧	5/20	相模の古代を考える会	調査研究
昭和11・17年航空写真	閲覧	5/4	個人	調査研究
津久井郷土資料室保管絵葉書	閲覧	5/11	個人	調査研究
下原遺跡出土品他	撮影・計測	7/9	加曽利貝塚土器づくり	調査研究

			同好会	
多摩史談他	閲覧	5/24	個人	調査研究
田名塩田遺跡群出土品他	掲載	6/10	相模原市文化財保護課	出版掲載
橋本遺跡第 文化層出土石器	閲覧	5/30	個人	調査研究
フクロウ初列風切羽写真	デジタル写真貸出	6/11 ~ 6/30	(有)八ユマ	出版掲載
相模鉄道関係書類他	閲覧・撮影	6/6	相模原市公文書館	調査研究
相原村統計資料	閲覧・撮影	6/8	個人	調査研究
蛇紋岩露頭写真	デジタル写真貸出	7/15 ~ 9/10	平塚市博物館	出版掲載
南津鉄道の線路予定図他	デジタル写真貸出	7/1 ~ 8/31	鎌水歴史研究会	展示
栗羊羹 包み紙他	撮影	6/25	八王子市郷土資料館	展示資料調査
新戸石川家資料、旧新磯村役場資料	撮影	6/23	相武台のナベト口遺跡をたどる会	調査研究
東原古墳出土品他	撮影・閲覧	6/30	神奈川県教育委員会文化遺産課	展示資料調査
下溝福田家文書	閲覧・複写	6/25	個人	調査研究
中村遺跡出土品	閲覧・撮影	6/27	個人	調査研究
旧上溝四ツ谷神輿	撮影	6/29	個人	調査研究
昭和 38 ~ 平成 6 年 橋本周辺地図	撮影	7/1	個人	調査研究
橋本遺跡出土土偶	デジタル写真貸出	8/2 ~ 11/5	凸版印刷(株)	展示
旧新磯村役場資料	撮影	7/4	相武台のナベト口遺跡をたどる会	調査研究
相原村小川家文書	撮影	7/4	個人	調査研究
上溝甲七号遺跡出土品他	撮影・閲覧	7/5	個人	調査研究
手回し洗濯機他	掲載	7/11	(株)青丹社	出版掲載
田名塩田遺跡群出土品他	掲載	7/28 ~ 10/9	國學院大學博物館	出版掲載
相原村役場資料	閲覧・撮影	7/13	個人	調査研究
田名塩田遺跡群 B 地区出土品	館外貸出	7/1 ~ 10/13	相模原市文化財保護課	展示
中村遺跡第 7 地点	掲載	8/1	(株)武蔵文化財研究所	出版掲載
中村遺跡出土品他	撮影・閲覧	7/25	個人	調査研究
昭和 31,44,48 年航空写真	閲覧・撮影	7/26	相模原市中央土木事務所	調査研究
田名花ヶ谷戸遺跡出土土偶	館外貸出	7/27 ~ 8/1	相模原市文化財保護課	普及事業
火山灰資料 池田湖他	館外貸出	7/27 ~ 8/24	個人	調査研究
田名篠崎家文書(烏山用水関係)	閲覧・複写	7/28	個人	調査研究
矢掛久保遺跡出土炭化種実	撮影・閲覧	7/28	個人	調査研究
昭和 47 ~ 平成 6 年 橋本周辺地図	撮影・閲覧	8/1	個人	調査研究
津久井城跡出土資料	館外貸出	10/ ~ 12/24	小田原城総合管理事務所	展示

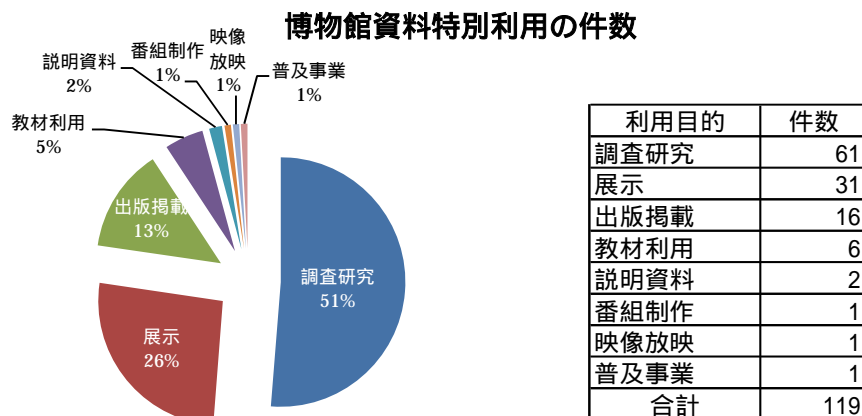
相原村小川家、上溝村小山家文書	撮影	8/12	個人	調査研究
神奈川産経新聞記事	模写	8/16	個人	教材利用
映像「さがみはらの養蚕」他	館外貸出	8/24～11/21	シルク博物館	展示
迅速測図 上溝村	複写	8/18	(株)イピソク 神奈川営業所	調査研究
25000 分の 1 地形図	撮影	8/18	神奈川県立相模原公園	展示
新聞(麻布学園中学遭難)、内郷村役場日記	撮影	8/22	個人	調査研究
古文書室紀要第 18 号 岡野家図面	撮影	8/24	(株)アリソデナサソ	番組制作
旧相原村役場資料 土木交通	館外貸出	9/6～1/6	相模原市公文書館	展示
小山村関口家・井上家文書	複写	8/26	個人	調査研究
大島村中里家文書	閲覧	8/30	個人	調査研究
相州津久井古城図ほか	出版掲載	9/28	(株)エイ出版社	出版掲載
佐野川佐藤英雄家文書	閲覧・撮影	9/2	個人	調査研究
尾崎号堂記念館展示尾崎戸籍	写真データ使用	9/12～	個人	調査研究
内郷村調査関係書類	閲覧	9/7	個人	調査研究
相模原市史現代図録編紙焼き写真	館外貸出	9/7	(株)ココロマチ	出版掲載
フクロウ標本写真	撮影	9/21～9/30	(株)デンソー	説明資料
マルヒメキノコムシ乾燥標本他	館外貸出	2/1～6/30	茨城県自然博物館	展示
鈴木重光資料 栗羊羹包み紙 6 点	館外貸出	9/12～12 月初旬	八王子市郷土資料館	展示
鈴木重光資料 栗羊羹包み紙 5 点	図録掲載	9/12～	八王子市郷土資料館	出版掲載
旧上九沢村笹野ハル家資料	複写	9/13	個人	調査研究
小山村関口家・井上家文書	複写	9/14	個人	調査研究
淵野辺村鈴木家文書(マイク口)	閲覧・複写	9/16	個人	調査研究
旧津久井郷土資料室所蔵戦前の教科書	閲覧・撮影	9/18	個人	調査研究
旧大沢村役場資料	閲覧	9/22	個人	調査研究
旧大沢村役場資料	閲覧・撮影	10/3	個人	調査研究
相原村小川家文書	撮影	10/5	個人	調査研究
谷原 11・12 号墳	出版掲載・揭示	11/1～2/18	神奈川県教育委員会文化遺産課	出版掲載
下中丸遺跡採集の寄贈資料	館外貸出	10/27～10/31	麻溝公民館	展示
相原村河津家文書・市博研究報告 13 集	複写	10/18	個人	調査研究
下溝遺跡群ほか	デジタル写真貸出	10/28～10/29	麻溝公民館	展示
鈴木重光スクラップブック・写真パネル	館外貸出	11/2～11/7	内郷地区文化祭実行委員会	展示
上溝金子光江家・田名志村家文書他	閲覧・複写	10/27	個人	調査

谷原 12 号墳、東原古墳出土品	館外貸出	11/6～3/15	神奈川県教育委員会文化遺産課	展示
勝坂式土器写真	出版掲載	11/15	相模原市南区役所区政策課	出版掲載
石造物調査カード、郷土相模原 18 号他	資料作成	11/2	個人	調査研究
淵野辺東小学校ポーリングコア	館外貸出	11/7～11/21	淵野辺東小学校	教材利用
映像「最後の養蚕 2010」(DVD)	館外貸出	11/2～12/22	星ヶ丘小学校	教材利用
昭和 3139 年航空写真	閲覧・撮影	11/8	相模原市中央土木事務所	調査研究
谷原 1～3 号墳出土品	館外貸出	11/13～3/15	相模原市文化財保護課	展示
吉野宿ふじや模型	館外貸出	11/16～11/20	NPO 法人ふじの里山くらぶ	展示
鈴木重光氏寄贈絵はがき	撮影	11/15	個人	説明資料
津久井城跡本城曲輪群出土品	館外貸出	12/1～3/31	(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園	展示
戦前・戦後の座間・原町田地形図	閲覧・複写	11/28	城南信用金庫	土地の調査
明治 39 年(同 42 発行)橋本地形図	閲覧・複写	11/29	個人	歴史調査
淵野辺村鈴木家文書(マイク口写し)	閲覧	12/1	個人	調査研究
1/2.5 万地形図「青梅」、「座間」	閲覧・複写	12/2	個人	調査研究
麻溝・新磯・相原・大沢村役場資料(軍事関係)	閲覧・撮影	12/5	相模原市公文書館	調査研究
ムササビ剥製標本	館外貸出	1/10～4/20	相模川ふれあい科学館	展示
備中鍬	デジタル写真貸出	3/1	東京書籍	教材利用
相模原市地形図	複写	12/15	(株)アセツアールアンドディー	調査
映像「最後の養蚕 2010」	館外貸出	12/15～12/14	シルク博物館	映像放映
津久井城跡本城曲輪群地区写真	デジタル写真貸出	12/18～12/24	相模原市文化財保護課	展示
田名向原遺跡住居状遺構	デジタル写真貸出	12/25～3/31	国立歴史民俗博物館	展示
昭和 15～54 年航空写真	閲覧・撮影	12/27	相模原市道路整備課	調査
迅速測図、航空写真(上溝周辺)	複写・撮影	1/4	個人	調査
淵野辺小川充俊家資料(マイク口)他	閲覧	1/7	個人	調査
旧新磯村役場資料	文献引用	1/7	相武台のナベト口遺跡をたどる会	展示
陶製手榴弾	館外貸出	1/17～1/27	藤野小学校	教材利用
昭和 30 年代・40 年代地図(星ヶ丘)	複写	1/18	個人	調査

山王平遺跡出土品他	館外貸出	1/25～3/31	JAXA 宇宙科学研究所	展示
田名塩田遺跡群出土品他	閲覧	2/23	相模原市文化財保護課	調査
麻溝村役場「陸軍練兵場関係書類」ほか	館外貸出	1/31～4/12	相模原市公文書館	展示
映像「最後の養蚕 2010」	館外貸出	1/27～2/28	星が丘小学校	教材利用
関東ローム層剥ぎ取り標本写真	デジタル写真貸出	2/23～3/10	(株)新興出版社 啓林館	出版掲載
旧小山村井上隆次家資料他(マイクロ)	複写	2/16	個人	調査研究
鈴木重光絵はがきコレクション	閲覧・撮影	2/25	個人	授業下見・調査
田名塩田遺跡群 A 地区黒曜石原石出土状態写真	出版掲載	3/15	神奈川県教育委員会文化遺産課	出版掲載
大日野原遺跡出土土器	館外貸出・出版掲載	6/11～9/21	東京国立博物館	展示
火山灰資料(寺平宏氏採集資料)	館外貸出	5/8～7/13	駒ヶ根市立博物館	展示
磯部まがり坂のポジフィルム	閲覧	3/15	個人	調査
勝坂遺跡発掘調査写真	出版掲載	3/22～3/29	相模原市文化財保護課	出版掲載
旧川尻村八木幸子家資料	閲覧	3/23～	個人	調査
津久井城跡出土品	撮影・出版掲載	3/23	(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園	出版掲載
矢掛久保遺跡出土炭化種実	撮影・出版掲載	3/24	個人	調査研究
勝坂遺跡出土品	館外貸出	4/1～3/31	相模原市文化財保護課	展示
田名塩田遺跡群出土品	館外貸出	4/1～3/31	相模原市文化財保護課	展示
山王平遺跡出土品他	館外貸出	4/1～3/31	JAXA 宇宙科学研究所	展示
津久井城跡本城曲輪群出土品	館外貸出	4/1～3/31	(公財)神奈川県公園協会 津久井湖城山公園	展示
下溝福田家資料 明治 13 年 国会開設建言	複写	3/31	個人	研究

(その他長期貸出資料)

国立民族学博物館に常設展示資料として、畑作に用いる播種・管理・収穫・脱穀調整用具 36 点を 3 年間毎の長期貸出している(平成 28～30 年度、貸出し開始は平成 25 年度)。



6 JAXA 宇宙科学研究所からの借用物

	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1/1 模型	H28.6.1		エントランス
2	「はやぶさ」1/1 模型	H29.9.11		エントランス
3	大西宇宙飛行士が ISS へ持ち込んだ、「はやぶさ 2」と小惑星リュウグウの模型	H29.8.26		エントランス
4	M-V5 号機 1/50 模型	不明		天文展示室
5	Xバンドアンテナプロトタイプモデル	H29.9.11	H29.10.30	
6	太陽系軌道模型	H29.9.11	H29.10.27	
7	IKAROS1/20 模型	H29.9.11	H29.10.27	
8	「ひので」1/5 模型	H29.9.11	H29.10.27	
9	「ようこう」1/5 模型	H29.9.11	H29.10.27	
10	MOON SCOPE	H29.9.11	H29.10.27	
11	ひてん 1/5 模型	H29.9.11	H29.10.27	
12	水星探査機 MM01/10 模型	H29.9.11	H29.10.27	
13	「あかつき」1/10 模型	H29.9.11	H29.10.27	
14	「あけぼの」1/5 模型	H29.9.11	H29.10.27	
15	ジオテイル 1/10 模型	H29.9.11	H29.10.27	
16	ターゲットマーカー	H29.9.11	H29.10.27	
17	ターゲットマーカー&フィルム	H29.9.11	H29.10.27	
18	イオンエンジン μ 10 耐久試験モデル	不明	H29.10.27	
19	イオンエンジン YOSHINO-1	不明	H29.10.27	
20	サンブラホーン試験モデル	不明	H29.10.27	

・その他物品

	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9.4.1		エントランス
2	はやぶさ 2 のぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台(はやぶさ)	H30.2.2		エントランス
4	スタンプラリー台(いんせき)	H30.2.2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類(3点)	H29.9.11		エントランス

7 全国科学館連携協議会からの借用物

	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	62の「月」が織りなす多彩な世界 - 土星探査機「カッシーニ」が見たリングと衛星群 -	H29.9.16	H29.10.29	データ
2	2017年ノーベル賞(化学、生理学・医学、物理学賞受賞者概要)	H29.10.14	H29.10.29	データ

調査研究

分野	内容と成果
考古	津久井城跡の発掘調査を実施したほか、橋本遺跡出土石器の黒曜石産地分析や下原遺跡出土の植物種子圧痕土器の資料調査を行った。資料調査成果は研究報告第 26 集に掲載した。
民俗	津久井町史文化遺産編執筆のため、特に旧津久井町域の祭礼及び正月の団子焼き行事、寺院の行事についての調査を行い、成果を『津久井町史文化遺産編』に掲載した。
歴史	市域の中世史や軍都・戦争関係等について調査し、講座や探訪などを開催した。その他、尾崎弔堂関係資料や寄贈された近世～近・現代資料の整理・分類・目録作成を進めた。
動物	市内の動物分布状況調査を行い、希少動物の生息状況および生息環境の把握を進めた。
植物	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業を行った。
地質	相模原市内および町田市の地形地質調査、多摩川源流および桂川の河床堆積物の調査を行った。
天文	日本の太陽系探査について調査研究を行い、企画展の展示に生かした。

検討会委員等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員	加藤 隆志
相模川河川整備計画有識者会議委員	秋山 幸也
国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー	秋山 幸也
神奈川県丹沢大山自然再生委員会委員	秋山 幸也
横浜シルク博物館開館 60 周年事業検討会議委員	秋山 幸也

市史・町史編さん

1 相模原市史

(1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関。委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 27 年 7 月 31 日～平成 29 年 7 月 30 日		会長	副会長
氏名	備考	選出区分	
小川 紳夫	公募委員	公募委員	
岡田 万里子	桜美林大学准教授	学識経験者	
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者	
中村 洋子	大野南公民館長	学識経験者	
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者	
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者	
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	学識経験者	
平澤 哲周	公募委員	公募委員	
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者	
矢野 英明	元帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者	

平成 29 年 7 月 31 日～平成 31 年 7 月 30 日		会長	副会長
氏名	備考	選出区分	
岡田 万里子	桜美林大学准教授	学識経験者	
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者	
千葉 宗嗣	公募委員	公募委員	
中島 聡	公募委員	公募委員	
中村 洋子	大野南公民館長	学識経験者	
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者	
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者	
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長	学識経験者	
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者	
矢野 英明	元帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者	

ウ 活動状況

回	開催日	主な内容
1	8 月 31 日（木）	(1) 会長及び副会長の選出について (2) 平成 28 年度市史・町史編さん事業の実施状況について (3) 平成 29 年度市史・町史編さん事業について (4) 市史編さん体制について (5) その他

(2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8 月 24 日 (木)	(1) 平成 28 年度市史編さん事業の実施状況について (2) 平成 29 年度市史編さん事業について (3) 相模原市史別編について (4) その他

(3) 専門部会の活動状況

近現代部会

ア 部会及び別編分科会の開催 (別編の構成内容の検討、編集作業)

近現代部会 開催日 5 月 27 日、11 月 3 日

別編分科会 開催日 6 月 17 日、9 月 2 日、9 月 23 日

イ 近代資料編及び別編の発行

『相模原市史 近代資料編』

A 5 判縦、口絵カラー 4 ページ、本文白黒 1,134 ページ、1,000 部、
5 月 31 日発行

『相模原市史 別編』

A 4 判縦、本文 396 ページ、1,000 部 (CD 版 500 枚)、
平成 30 年 2 月 28 日発行

(4) 普及事業

ア 市史講演会 相模原市の軍隊と地域 - 市史資料を中心に

詳細は、講座・講演会の欄に記載

イ 『相模原市史ノート (第 15 号)』の発行

A 5 判縦、108 ページ、700 部、平成 30 年 3 月 31 日発行

ウ 市史刊行物の販売

博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店 (11 店舗)
で販売

2 津久井町史

(1) 町史編集委員会

趣旨及び委員構成

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期 2 年、委員 15 人。なお、委員会の会議は、原則として専門部会又は特別部会ごとに開催し、編集委員長が招集する。

編集委員会の開催 (町史文化遺産編の構成内容や今後のスケジュールの確認など)

開催日 12 月 21 日

(2) 専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された文化遺産部会を開催し、文化遺産編の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

ア 部会の開催 (調査の進捗状況、構成内容や刊行までのスケジュールの確認など)

開催日 5 月 25 日、12 月 21 日

イ 調査の実施

- ・彫刻・絵画等調査 寺院に保存されている仏像や掛軸などの調査
- ・古民家補足調査 図面等の再確認調査

- ・近代化遺産建築調査 青山水源事務所の補足調査
 - ・近代化遺産土木調査 橋梁等の補足調査
 - ・祭事調査 例大祭の補足調査
 - ・石仏調査 石仏等の補足写真撮影
 - ・産業遺産調査 補足確認調査
- ウ 文化遺産編の発行
- 『津久井町史 文化遺産編』
A 5 判縦、フルカラー、本文 6 8 9 ページ、1 , 2 0 0 部、
平成 3 0 年 3 月 3 1 日発行

(3) 普及事業

- ア 町史刊行物の販売
博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店 (1 1 店舗)
で販売

博物館関連施設

1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



尾崎弔堂記念館は、「憲政の神様」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に、「尾崎弔堂生まれ地記念事業委員会」よって建設された。

昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成 28 年 2 月、協働事業提案制度事業で常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 住所	相模原市緑区又野 6 9 1 番地
イ 電話番号	0 4 2 - 7 8 4 - 0 6 6 0
ウ 延べ床面積	2 2 9 . 6 2 m ²
エ 建物構造	木造 1 階建て

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3 メートル、幅 5 0 センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行八みな善事之をへらす言行八みな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 4 6 年に現在の場所に移設された。

（3）弔堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 4 5 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3 , 0 0 0 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど 4 品種の桜苗木を『弔堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年、記念館の庭に植樹された。

また、平成 2 4 年には桜寄贈 1 0 0 周年を記念し、新たな里帰り桜『ソメイヨシノ』1 本が有志により植栽された。

（4）企画展・講演会

尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業「尾崎弔堂記念館展示・普及事業委託」の一事業

尾崎弔堂記念館企画展 「尾崎行雄（弔堂）ゆかりの人々」

ア 内容 弔堂が関わった主な政治家の紹介、弔堂が詠んだ短歌、新しい収蔵資料、演説の肉声などを公開した。

イ 期間 9 月 3 0 日（土）～ 1 0 月 2 9 日（日）

ウ 観覧者 延べ 2 1 3 人

エ 関連事業

1 講演会「憲政の危機～一人ひとりの責任」

実施日 10月1日(日)

講師 原 不二子(尾崎号堂の孫、国際通訳者)

場所 津久井中央公民館

参加者 56人

尾崎号堂記念館 講演会「吉田茂について～外交官・政治家としての吉田茂～」

ア 内容 明治から昭和にかけて活躍した政治家尾崎行雄(号堂)とも関わりがあった戦後の名宰相吉田茂について、大磯町にある旧吉田茂邸の学芸員がお話した。

イ 日時 平成30年1月20日(土)

ウ 来場者 38人

エ 講師 久保庭 萌(大磯町郷土資料館学芸員)

尾崎号堂記念館 講演会「天野貞祐の業績～津久井鳥屋に生まれた哲学者・教育者～」

ア 内容 津久井鳥屋出身の哲学者、教育者で尾崎家尾崎行雄(号堂)とも関わりがあり、戦後には文部大臣、独協大学を創立した天野貞祐についての講演会を行った。

イ 日時 平成30年3月10日(土)

ウ 来場者 47人

エ 講師 貝塚 茂樹(武蔵野大学 教授)

2 吉野宿ふじや(緑区吉野)



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩(諏訪藩)の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられたものと言われている。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事(歩道設置)に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンし、平成26年4月1日には町家遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

(1) 施設概要

ア 住所 相模原市緑区吉野214番地

イ 電話番号 042-687-5022

ウ 延べ床面積 392.51㎡

エ 建物構造 木造3階建て

(2) 企画展

平成 29 年度に提案型プロポーザル方式で選定した N P O ふじの里山くらぶへ委託した「吉野宿ふじや活性化事業」

「藤野の養蚕」展

ア 内容 「吉野宿ふじや」を会場として、お蚕の飼育の見学や糸取り・繭のクラフトの体験などを通して、藤野地域の養蚕にまつわる資料やエピソードなどを紹介した。

イ 期間 7月15日(土)～8月27日(日)

ウ 来館者 延べ 650人

エ 関連事業 カイコの「桑くれ」体験
ワークショップ(マユからの糸取り)
「養蚕の体験を聞く会」

日 時 7月29日(土)

講 師 山口 千三、中村 百代

参加人数 32人

講話「津久井の養蚕」

日 時 8月20日(日)

講 師 菊地原 稔、守屋 博文

参加人数 38人

オ 協力者 藤野観光協会

「藤野の石造物」展

ア 内容 藤野の石造物を地域ごとに、地図、写真、解説文などで紹介した。また、実際に石造物を見学する探訪を実施した。

イ 期間 11月1日(水)～12月10日(日)

ウ 来館者 延べ 523人

エ 関連事業 石造物めぐり
日 時 11月3日(金・祝) 12月2日(土)

場 所 藤野駅から相模湖駅まで

講 師 大房 晋、尾花 和一、村田 公男

参加人数 19人 30人

「藤野のおひなさま」展

ア 内容 藤野地区の方から寄贈を受けたものや借用した「おひな様」を展示した。特に今回は享保期とされる貴重なおひな様の展示も行った。

イ 期間 平成30年2月17日(土)～3月25日(日)

ウ 来館者 延べ 543人

エ 関連事業 ・ひな人形作り
2月24日、3月3日、3月17日、3月24日の各土曜日

講 師 ふじの里山くらぶ会員

参加人数 延べ 76人

3 入館者数一覧

(1) 尾崎弔堂記念館

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
25年度	1,593	293	5.4
26年度	1,593	295	5.4
27年度	1,571	298	5.3
28年度	1,859	302	6.2
29年度	1,559	305	5.1
合計	8,175	1,493	5.5

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
25年度	2,132	*1 228	9.4
26年度	3,202	307	10.4
27年度	3,119	304	10.3
28年度	3,154	302	10.4
29年度	*3 1,554	*2 115	13.5
合計	13,161	1,256	10.5

*1 積雪による休館 平成26年2月18日～2月26日

*2 平成29年4月から土・日曜・祝日のみ開館

*3 団体及び企画展による平日の利用人数を含めると2846人/186日

発行日	平成 30 年 4 月 1 日 相模原市立博物館
住 所	〒252-0221 相模原市中央区高根 3 - 1 - 1 5
T E L	0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 3 0
F A X	0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 6 1
e-mail	hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
U R L	http://sagamiharacitymuseum.jp/